【調査終了判断フロー図】

地下水質常時監視の継続監視調査における自然由来汚染地点の終了判断について

NO

引き続き継続監視調査を実施

測定項目が以下に該当する項目のみである

・砒素、ふっ素、ほう素、総水銀、鉛、セレン、カドミウム、六価クロム

YES

NO

人的由来の可能性の確認

・調査地点及びその周辺※１における測定項目の使用履歴（使用事業所や不法投棄等）が確認されない

①汚染が自然由来であることの判断

YES

②継続監視の終了対象地点の判断

NO

現在使用中で、使用用途が経口摂取される可能性のある用途（田畑への散水等）ではない井戸である

現在使用していない井戸（未使用井戸）である

NO

YES

NO

NO

調査を行った直近５年※２の検出濃度が上昇傾向にない井戸である

概況調査対象メッシュ外の井戸である

YES

YES

YES

研究論文等、根拠資料を整理した上で大阪府環境審議会水質部会での審議を経て判断し、継続監視を終了

※１：周辺とは、大阪府地下水質保全対策要領の運用を準用し、以下のとおりとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 物質 | 地下水汚染が到達しうる距離の一般値（m） |
| 六価クロム | 概ね　500 |
| 砒素、ふっ素及びほう素 | 概ね　250 |
| カドミウム、鉛、総水銀及びセレン | 概ね　 80 |

※２：直近５年とは、ローリング調査を含む過去５年分とする。

【調査終了判断チェックシート】

資料３－２

